

好きな時間、好きな場所で働いて  
おまけに子どもの生きる道まで作る  
欲張りなママの素晴らしい生き方

# 自閉っ子・グレーっ子ママの 働き方マニュアル

発達科学コミュニケーションマスタートレーナー  
(臨床心理士)

石澤かずこ 著

ピンときたら、読む価値あり！

ママが起業するなんて本当にできるの？

「家計の足しになる程度稼げればいい」の落とし穴

子どもに発達の凸凹があった方が働きやすい  
不思議な世界があるってホント！？

**我が子の将来を思うなら  
お母さんがもっと  
欲張りにならなきゃ  
いけないんです！！**



# 初めましてのあなたに向けて

親子のコミュニケーションを  
スムーズにして子どもの発達を加速する！

発達科学コミュニケーション  
マスタートレーナー  
の石澤かずこです。



この本は、お子さんが生まれてから今日まで、  
「お母さん」として、必死に我が子の  
成長を願い続けたあなたに向けて書いています。

あなたはもしかしたら、  
うちの子、発達障害かも・・・と心配で夜も  
眠れない日々を過ごして来られたかもしれせん。

**あなたの育て方  
あなたの愛情不足**

そんな心無い言葉を浴びせられ、  
傷ついてきたかもしれせん。

## 初めましてのあなたに向けて

あなたが今こうして、  
この本を手にとられたということは、

「そろそろ私も、仕事がしたいな」  
「そろそろ私も、自分の人生を楽しみたいな」

そんな思いをお持ちなのではないでしょうか？

そしてもしかしたら、  
こんな思いを密かに温めているのかもしれない。

我が子と同じような  
発達の凸凹のある子ども達＝パステル（グレー）  
ゾーンの子ども達が

色とりどりの「個性」を潰されないように  
自分らしく生きられる世界を創ってあげたい。

しかし、そう思う反面、  
こんな厳しい現実も目の当たりにしているのでは  
ないでしょうか。

## 初めましてのあなたに向けて

空気を読むのが苦手で、何をやらせても不器用な我が子。

クラスの中で浮いてしまっていて、先生に目をつけられてしまっている我が子。

何よりも、自分自身が、我が子の良いところを潰してしまうような関わりをしているのではないか。

我が子が大人になって、普通の会社に入り普通に働く姿が想像できない。

### 社会はそんなに甘くない。

「大人の発達障害」という言葉がメディアで取り上げられるようになり、彼らの現実を知るたびに、暗くて不安な気持ちが大きくなる現実を抱えておられるかもしれません。



そんな暗い未来、一緒に

ぶっ壊して  
いきませんか!?

# 私は本気です！

令和の時代に入り、どんどんとAIが台頭するようになっていきます。

「発達障害は才能です」

「これからは発達凸凹の子どもたちの面白い個性が輝く時代です」



こんな言葉を、もしかしたらどこかで見聞きされたことがあるかもしれません。

本当かな？本当だったらすごいよな。でも・・・  
現実ってそんなに甘くないんじゃないかな。

そんなふうに思いますか？

# 私は本気です！

誰かが何とかしてくれる。

そんな風に思っているのは、永遠に理想の時代はやって来ないかもしれません。

それに、「いつか」ではなく、我が子が大人になるまでに、それが実現しなくては困るわけです。

だったら、  
私たちの手で  
創っちゃえば  
いいんじゃない！？

パステルの子どもたちが、いえ、障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちが

「僕って、私って、結構幸せかも！」  
と感じながら生きていける未来を。

# 私は本気です！

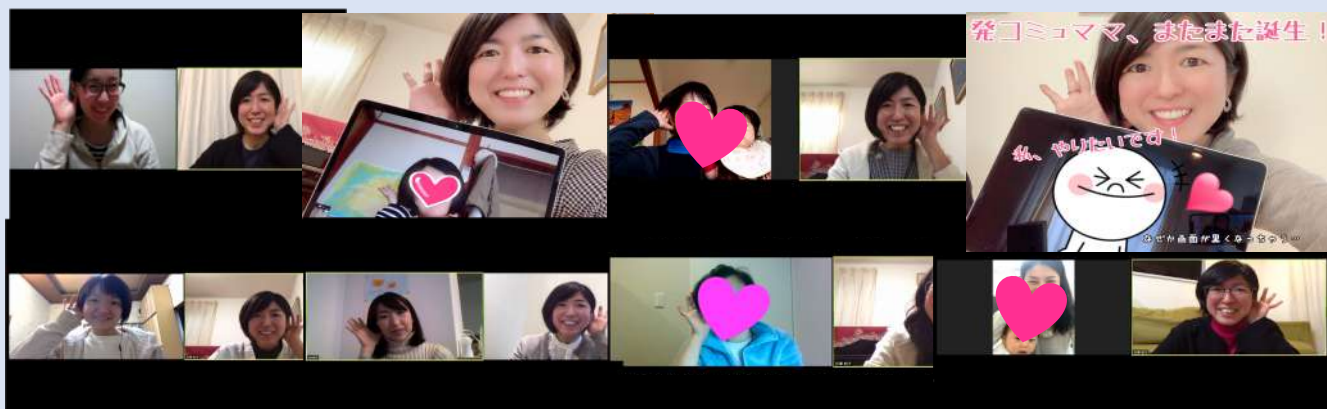
私は、本気で叶えます。

あなたが一緒に、一歩踏み出してくれたら  
それだけ**未来に一歩近づける**のです。



タイトルにピンときた方はぜひ来てください♪  
オンライン個別相談会へご招待

「空気を読む」が苦手な我が子の  
将来の**生きる道**を作る！  
ママが**自分らしくしっか**り稼ぎ  
子どもに**後ろ姿**を魅せる！  
個別相談会



【読者特典価格】

15名限定で**無料**で受け付けます。

▼お申し込みはこちら▼

(クリックすると詳細ページが開きます)

<https://www.agentmail.jp/form/ht/17198/1/?PDF>

# 自閉っ子・グレーっ子がぶち当たる 社会の壁

「空気を読む」ことが苦手と言われている彼らの特性。他にも、マルチタスクが苦手で、様々なことを要領よくこなしていくことが苦手な方も多いです。

そんな自閉っ子・グレーっ子の特性が、社会に出た時どんな風に壁になっていくのか？想像がつかますか？

大人の発達グレーゾーンの方の多くが抱える社会への適応の壁は、実はそういったよく知られている目立った特性だけではないようなのです。

「なぜあの方はミスが多いのか？」  
「なぜあの方は少し言動が変わっているのか？」  
と周りから思われてしまっているのではないかという  
**不安。**

つまり、**根拠のない漠然とした不安**が彼らの「仕事」への適応を阻む大きな壁となるのです。

# 自閉っ子・グレーっ子がぶち当たる 社会の壁

これは、自閉（ASD）タイプのグレーゾーンの次のような**脳の情報処理の特性**が大きく関わっています。



- ・ ネガティブな記憶の蓄積
- ・ 物事のネガティブ処理
- ・ 困っていること、助けてほしいことを伝えることの苦手さ
- ・ わからないこと、見えないことに対する不安の強さ

さらにグレーゾーンの場合、医療の診断名が見つからないため、会社に自分の特性を公表しないで就職しているケースが大半です。

「ちょっと変わった人」と周りも本人も思っていることが多く、**できないのはその人の責任**、とされやすいことも、グレーっ子が大人になってぶち当たる社会自立の壁になりやすいのです。

# パステル（グレー）ゾーンならではの 苦しさ

「診断をもらえない」ということ自体が、大人になった本人を苦しめている事実を知っていますか？

どこにも属すことのできない不安定さ

これで発達障害でなければ、  
私ができないのはなんのせいだろう・・・

自己理解ができないって、  
アイデンティティが持てないって  
どんなに苦しいことなのか。

幼い我が子が、  
大人になってこんな風に苦しむことのないように、

今私たち親ができることを考えていきたいですね。

# 最も苦しいことは・・・

「発達障害の特性そのものよりも

**二次障害<sup>※</sup>の方がキツイ」**

これが大人のパステル（グレー）ゾーンの方の本音の声です。

なぜ、そこまで、彼らは自信がないのか？

何が、うつ病や適応障害など、病になってしまうほど彼らを苦しめてきたのか？

大人になってから「自分は発達障害ではないか？」と受診する方の、少なくない割合の方が

「お前は障害のせいにするのか！ そんなはずない」

と**実の家族**に言われ、二重で傷ついていく経験をしています。

※失敗を繰り返すなどで自信を失ったり、うつ病などの精神症状を二次的に引き起こすこと

## 幼児期だからこそ、やってあげられる

発達の凸凹は、年齢を重ねるごとに複雑化していきます。

それは、元々の特性なのか、傷ついたり、自信をなくっていった結果起こっているのか、症状が混在するようになるからです。

多くのお母さんは、幼児期に気づいています。

うちの子、なんだか育てにくい。

その感覚を放って置かずに、この子の特性なのかもしれないな、という視点を持ってあげれば、

本人が抱えている苦しさに気づいてあげることができるのです。

大切なのは  
障害か、障害じゃないか、  
ではないのです。

# 「令和」を生きる今のお母さんが 子どものために絶対に持つべき視点

スタートは、「困ったこと」を本人が「困っていること」として捉える視点を持つことです。

つまり、「この子ってどんな子？」をありのまま見つけていくプロセスです。

では、子どものことをちゃんと理解して、素晴らしい関わり方をしてあげられれば、それで、子どもたちの未来は明るくなるのでしょうか。

答えは、**NO**。



では、何を知っていれば、子どもたちがその子らしく輝ける未来を作ってあげられるのでしょうか？

# YouTuberが職業として成り立つ時代

今は幼い我が子だって、いずれは大人になり、仕事につき、自分でお金を稼ぎながら自立して生きていかななくてはなりません。

私たちが子どもだった頃、将来の夢といえば、男の子はスポーツ選手、女の子はケーキ屋さんやお花屋さん。

これに異を唱える人はいなかったのではないのでしょうか？

今では若者の絶大な人気を集めている

**YouTuber**という職業。



これはここ数年で登場した職業です。

マニアックな動画を撮って配信する。それが社会現象を起こすほどの「シゴト」になるなんて、あなたが子どもだった頃、誰が予想できたでしょう。

# 今ある職業を念頭に置いている場合 じゃない

さらに、「AI（人工知能）」の爆発的な発達で、  
「AIに仕事を奪われるのではないか・・・」という  
声がそここでささやかれているのも事実です。

「あと**10年**で、ロボットが今ある職業の**約8割**を  
担うようになる」

そんな論説も、身近で見聞きするようになっている。

実際に奪われてしまうのか？については、たくさんの  
専門家が、たくさんの議論を交わしているので、  
そちらに譲るとして、

ある時突然、皆がスマホを持ち出して、いつの間にか  
それが「当たり前」になっていったように、  
そのタイミングは突然やってくるかもしれないのです。



子どもを「育てる」こと、  
そして、必要な教育を施すこと。

それはそんなに急なギアチェンジができるものではありません。

だとしたら！！  
時代の流れに対応しながら、  
むしろそれを強みに変えていける子どもたちに  
育てて欲しいと願うなら、



親である私たちが、時代の流れに  
敏感になっていかないといけないのではないでしょう  
か？

# 人は、自分が「知らない」ことに強い不安と抵抗を抱くもの

私たち人は、知らないこと、未知のことに対して強い不安や抵抗感を抱くようにつくられています。

これは、脳が身を守るために太古から培ってきた本能の力です。

でも！  
だからこそ！！



子育て中の私たちこそ  
「やったことのない未知のこと」に  
挑戦することがとても重要なのです。

# 人は、自分が「知らない」ことに強い不安と抵抗を抱くもの

もしもお子さんが

「今日から学校行かない」って言ったらどうしますか？

「私、受験やめた。大学に行かない。

ちょっと外国に旅に行ってくる」って言い出したらどうしますか？

大人になって、

「会社辞めてきた」って言ったらどうしますか？



「やりたいことができたから、

自分でビジネス起こしてみようと思う！」

って言ったらどう反応するでしょう？？

# 人は、自分が「知らない」ことに強い不安と抵抗を抱くもの

そんなんで、生きていけるはずがない！！  
人生そんなに甘くない！！  
やめておきなさい！！！！

必死で阻止するかもしれません。  
あなたの行動の根っこにあるのは、「知らない」ことへの不安です。

でももし仮に、  
そこにお子さんの  
大きな可能性が眠っていたとしたら



## あなたは、あなたの言葉に責任が持てますか？



だからこそ、  
いっそ背中魅せて  
行こうじゃん！？

# 「背中を魅せる」が 脳科学的に正しい理由

子どもに生きて欲しい人生を、お母さんが生きてみる。

これは実は、脳機能的にも、最も有効な子育ての仕方なのです。

子どもの脳は、言葉を理解するルートよりも目から入る情報、雰囲気から伝わる情報の方が、一瞬早く処理されるのです。

「あなたらしく、夢を叶えて欲しい」という言葉の力よりも、

**お母さん、  
めっちゃ人生謳歌しているやん！！**

という姿の方が、子どもの脳に残る、イコール子どもの生き方への影響力が絶大である！！

ということなのです。

# そう。



# だからなおさら、 背中魅せて 行こうじゃん！？

私石澤が、わざわざ起業して  
発コミュトレーナーに  
なったワケ

# 私が「わざわざ」起業して 発達科学コミュニケーショントレーナー になった理由 ～石澤ストーリー～

私は長らく、発達の専門家として、  
子育ての相談に乗ってきました。

教育委員会の仕事、カウンセラーの仕事、  
療育教室での仕事・・・

色々な仕事を「臨床心理士として」やってきました。

そもそも、私がなぜ心理学の道を選んだのか？  
そこには**大きな挫折と、失望と怒り**が流れています。

大学生の時、私は**小学校の先生になりたいと**、  
教育学部にいました。

「なんか楽しそう！」と選んだ研究室が、  
たまたま発達障害の研究をしていた・・・

そんな熱い志も何もない、衝動性の賜物による  
進路選択をした大学生の私。

## ～石澤・起業ストーリー～

教育学部ってね、一応みんな先生になることを目指して学んでいるので、

大学3年生の時に「教育実習」というのがああるので、

私が配属されたのは大学附属小学校の4年3組でした。

配属されて驚いたのは、  
発達でこぼこの子どもたちのなんと多いこと！！

実にいろんなタイプのでこぼこちゃんがいいましたが、  
私が最も惹かれたのは、静かに定規を見つめていた  
笑顔の素敵な学習障害の男の子でした。



## ～石澤・起業ストーリー～

頭のいいお子さんでした。

優しくおっとりしているけれど、会話の受け答えはとても利発。

友達のことを思いやれる、優しい心の持ち主だったA君。

そんなA君は、算数の時間になると、とても**悲しい顔**をします。

彼は定規の目盛りがうまく捉えられませんでした。ちょうど実習時期の4年生はコンパスの授業をしていました。

手先も不器用なA君は必死で目盛りを読みながら、一方で必死でコンパスを開こうとする。悪戦苦闘しているうちに、目盛りを忘れて一からやり直し・・・

そんなことを授業中延々としているのです。

## ～石澤・起業ストーリー～

私は決めました。

A君の姿におかまいなしで、どんどん進んでいく授業。

どんな声かけをしたら、どんな補助の教材を使ったら、彼が理解しながら、授業に参加できるのか。

実習の4週間を使って、  
それをとことん研究してみよう！！

自分がメインで立つ授業以外は、  
常にA君の傍で、彼の強みを見つけようと  
じっと姿を観察し続けました。



## ～石澤・起業ストーリー～

当時学生の私ができることは、  
全てやりきった自信がありました。

A君も少しずつ、笑顔を取り戻していき、  
その姿が嬉しくてたまりませんでした。



4週間の実習期間を終え、  
提出したレポートの評価を見て、

思わず私は、二度見し、固まりました。

そこに書かれていたのは・・・

～石澤・起業ストーリー～

# まさかのD判定

(Eだと不可＝教育実習やり直し。  
ギリギリお情けの通過でした)



さらにそこに書かれた、指導教官の言葉に  
私は怒りに震えました。

そこにはこう書かれていたのです。

**「あなたは先生失格です」**

## ～石澤・起業ストーリー～

目の前で発せられている小さなSOSに手を差し伸べたらそれがえこひいきだと言われてしまう。

その事実に衝撃を受けた私。  
そして、固く決意したのでした。

先生がやってくれないのなら、**私がやる！！**

大勢の中で埋もれてしまう、発達障害の子どもたちのSOSを絶対見逃さない！！

先生になる道をすっぱりとやめ、発達の専門家になることを決意したのでした。

これは私が学生だった時のエピソード。  
まだ「**特別支援教育**」が**スタートする前**のストーリーです。

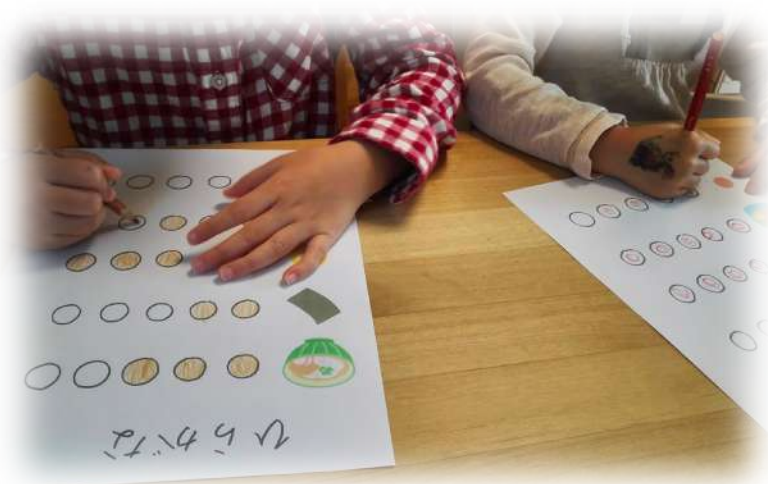
15年以上も前の状態から、今の教育はどれほど進歩したのでしょうか？

# 発達科学コミュニケーショントレーナー になった本当の理由

心理学の道を選んだ私は  
長年培ってきた技術を使って、  
自宅で幼児教室を営んでいた時もあります。

学校でも、幼稚園でも、教育委員会でも、自宅でも。

いつも「先生」と呼ばれてきました。



すべての子どもたちが、自分らしく  
秘めた力を発揮し、  
輝く未来を手にしてほしい。

そんな大きなビジョンを掲げ、  
「シゴト」に取り組んできました。

一方で、3歳になった娘の  
幼稚園入園とともに始まった、朝のぐずりに  
心が折れそうになりながら子育てをした経験が  
あります。

そして、  
次女の癩癩にビクビクする余り、

もうすぐ1年生に上がる  
物分かりの良い長女に、

「お姉ちゃんだから」と我慢をさせたり、  
気を使わせたりもしてきました。

理想の子育てと、  
自分の力量の差に愕然とし、

育児書を読んでは、自信をなくす  
そんなスパイラルの中に  
いた経験があります。



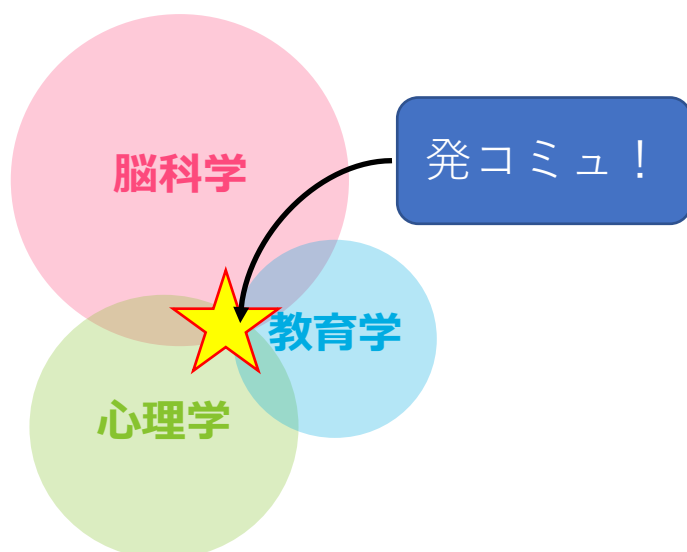
# 根拠があるから、効果が早い！ 科学に基づいた 発達科学コミュニケーション

「こんな私が、人様の相談に乗っていて、いいのだろうか・・・」

現実と理想のギャップに、悩む私を救ってくれたのが  
**発達科学コミュニケーション**でした。

発達科学コミュニケーションは、

**「脳科学」「心理学」「教育学」**のいいところ  
で作られた科学的なメソッドです。



## 私にしかできない子育てサポートがある！

私には、「臨床心理士としての専門性」と

発達科学コミュニケーションを習得して、

**2週間**で我が子のぐずりを納めてきた  
「母としての実績」があります。

この経験を活かすのは**私の使命**だと感じた！  
これが私がこの道を選んだ本当の理由です。



こうして、「起業」という未知の世界に飛び込み、  
たくさんのお母さんとともに発達科学コミュニ  
ケーションを使って、子どもたちの素晴らしい力をお家で伸ばしてきました。

相談総数は**1年半で200名**にもものぼります。

そして今。志を持ったお母さんたちが  
トレーナーとして新たな親子を救っています

そして今、私の元には

「自分の手で我が子の未来を輝かせたい！」  
「同じように悩む方を救いたい！！」という

熱い志を持ったママたちが仲間として活動を  
始めています。

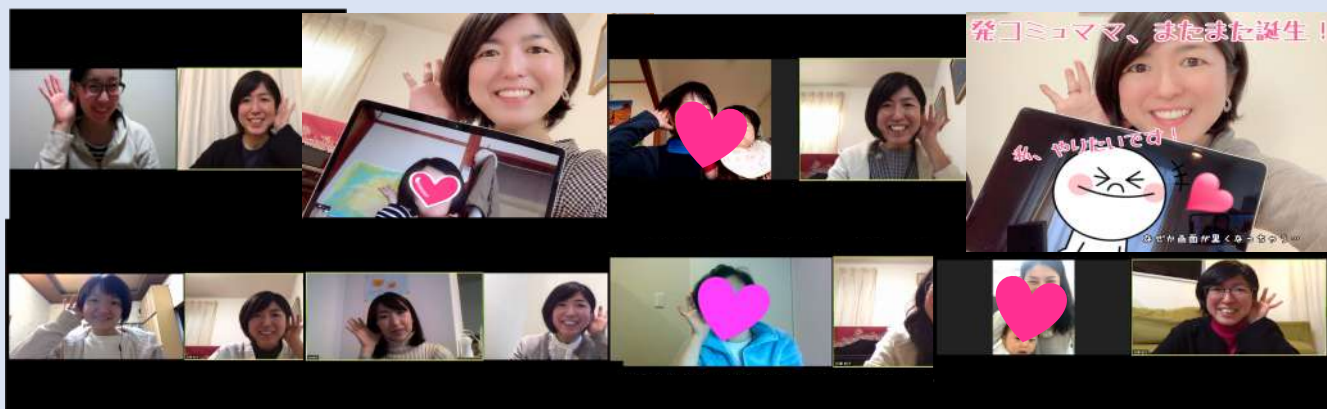


彼女たちは、もともと「普通の」ママたちです。  
今は一人一人が自立した「先生」であり「起業家」  
であり

「発達科学コミュニケーショントレーナー」  
です。

あなたの可能性を見つけにしませんか？  
オンライン個別相談会へご招待

「空気を読む」が苦手な我が子の  
将来の生きる道を作る！  
ママが自分らしくしっかき稼ぎ  
子どもに後ろ姿を魅せる！  
個別相談会



【読者特典価格】

15名限定で無料<sup>で</sup>受け付けます。

▼お申し込みはこちら▼

(クリックすると詳細ページが開きます)

<https://www.agentmail.jp/form/ht/17198/1/?PDF>

トレーナーってどんなシゴト？  
どうやってなるの??

# 発達科学コミュニケーショントレーナー という「シゴト」

お子さんの年齢や、発達タイプによって、  
トレーナー独自のポジションを作るので、  
ハードルは高くありません。

むしろ、**大変な子育てをしていればしているほど、**  
お子さんに発達の特性があればあるほど、

## お仕事が創りやすい！

というちょっと変わったお仕事です^^

ご自宅にいながら、自分のペースで  
社会貢献になる仕事ができ、

さらに我が子の発達まで加速しちゃう！

**好きな場所、好きな時間で、好きな人と仕事ができる**  
自由な働き方を手に入れて、

お子さんに背中を魅せる！  
そんな生き方をあなたと私で、一緒に創っていきましょ  
う！

# 発達科学コミュニケーショントレーナー という「シゴト」

学び始めるところから、  
お仕事に至るまで、

全て**オンライン**でできますから、  
通勤の必要がなく、お子さんの行事や  
体調に合わせて、自宅にいてあげることも可能です。



セミナーや講座も

シゴトの  
個別相談も



もちろん、会いに来てくれたら、  
特別授業、しちゃいます♪



# トレーナーになるにはどうしたらいいの？

次の2つの方法でトレーナーになることができます！



条件は一つだけ。

子どもの未来のために、自分が「楽しい！」と思えるシゴトを貪欲に追求できる人！！

起業のノウハウも丁寧に一つずつお教えしますから、最初はダブルワークでスタートし、たった2ヶ月で生徒さんができたトレーナーや、

専業主婦からスタートして月商7桁にまで到達しているトレーナーもいるんです。

## トレーナーの声



バリバリキャリアウーマンから  
月商7桁の起業家へ！  
息子の活躍できる社会を  
本気で作ろうとしているママ

### 清水畑 亜希子さん

当時、仕事か忙し過ぎて  
問題のある息子の対応すらてぎない状態でした。

発達の勉強ももっとしたい、仕事もしたい、  
そう考えた時に  
発達を仕事にするという選択肢があることを知り  
その道に進むことを決断しました。

思春期ど真ん中の息子の対応は一筋縄ではいかず、  
私がイライラしたり、ガミガミ言ったりすることが多く  
息子も反抗ばかりしていました。

中学に上がるタイミングだったので、  
「頑張らせよう！」と思っている私の思惑と  
子どもの問題行動の多さのギャップで、毎日言い合いが続いて  
いました。

取っ組み合いの喧嘩、物を投げる、家を壊す、  
BB弾を至近距離で打ち込まれたこともあり、  
少々生命の危機を感じるレベルの荒れ具合でした。  
(次ページへ続く)

## トレーナーの声



バリバリキャリアウーマンから  
月商7桁の起業家へ！  
息子の活躍できる社会を  
本気で作ろうとしているママ

### 清水畑さん続き

トレーナーになり、私の姿勢が大きく変わりました。

トレーナーになるには、  
どんなトラブルの相談が来ても、  
対応できるプロフェッショナルであるべきだと思ったし、  
それに見合う経験を積むべきだと感じました。

だから、困難があったら、  
「どうやったらクリアできるか？」を  
考えるようになりました。

自分で考え、実践し、その証明を生徒さんたちに伝えていく  
その思考のサイクルができたのが、  
大きな変化だったと思います。

自分の価値観を押し付けずに、息子のレベルに合わせた  
コミュニケーションをする。周りの子と比べない。  
いいところを伸ばす。

そんな姿勢ができたのも、トレーナーになってからです。



# 見違えるように穏やかになった 思春期の息子さん

## 清水畑さん続き

私に対応を変えたので、  
息子は穏やかに過ごす時間が増えました。

不登校になった時期もありますが、  
それでもどっしり構えられていたのも大きな変化だと思います。

今は「この子の良さを伸ばすにはどうしたらいいのか？」  
という視点で考えられるようになり、  
息子と一緒に色々チャレンジしている感じです。

息子の新しい一歩が、  
発達グレーゾーンの子とそのお母さんの人生に  
明るい光になればいいな、と思いながら  
新しい道を手探りしています。

そんな考え方をする日が来るとは  
思っていなかったなので、大変ながらも楽しんでいきます。



そんな生き方がいいね！と  
思われる息子へ。

### 清水畑さん続き

「どこでも仕事ができる」というスタイルになり  
子どもが病気の時、子どもがどうしても登校できない時でも  
焦らずに、シゴトをしながら子どもの様子を見ることが  
できるようになったのは、とても大きな変化です。

会社勤めをしていた時は、残有休日数とにらめっこしながら  
シゴトをする毎日でしたが、

今では子どものコンディションに合わせて、  
どうしても学校に行かれない日は、  
それを受け入れる余裕ができて、  
子どもとしっかり向き合うことができるようになったのが  
いちばんの財産です。

そして、学校教育で評価されない子たちの才能を伸ばし、  
世の中に発信していき、

「そんな生き方、いいね！」と思ってもらえるようにする。  
そしてそれを「スタンダード」にしていく。

学歴至上主義の日本の教育界に風穴を開けます！

# 最初は皆、普通の「お母さん」でした



口達者で不安の強い息子の特性に疲れ切っていたお母さん



やんちゃでグズグズ男子の子育てに手を焼いて、「お母さんやめたい」と思っていたママ



口のたつ娘を「可愛いと思えない」ことを責め続けていたママ



荒れる思春期の息子の対応にいつもオロオロしていたお母さん



人一倍繊細な我が子を叱っては毎日寝顔に謝っていたママ



グレーゾーンの兄弟喧嘩に翻弄され続けていたお母さん

今では、子どもたちの  
誰よりの応援団！



背中で魅せる最高に  
「かっこいい」お母さんです！

あなたの力が発揮される日を誰よりもお子さんが待っています♪  
オンライン個別相談会へご招待

「空気を読む」が苦手な我が子の  
将来の生きる道を作る！  
ママが自分らしくしっっかり稼ぎ  
子どもに後ろ姿を魅せる！  
個別相談会



【読者特典価格】

15名限定で**無料**で受け付けます。

▼お申し込みはこちら▼

(クリックすると詳細ページが開きます)

<https://www.agentmail.jp/form/ht/17198/1/?PDF>

最後まで読んでくださった  
あなたへ  
届けたいメッセージ



# 今までたくさん頑張ってきたあなただから

「うちの子育てにくい・・・」  
「私の育て方が悪いの？」  
そう感じているママこそ、

子どもの未来を案じ、  
子どもと必死で向き合って、それでもうまく行かない  
現実をめげそうになっているかもしれません。

パステル（グレー）ゾーンの子どもたちは  
できることと、苦手なことの差が大きく  
周りからも理解が得られにくいことで

お子さんも、お母さんも  
今までたくさんの心無い言葉に傷ついてきたのでは  
ないでしょうか？

今、子どもたちを直接サポートする方法は  
少しずつ充実してきています。

しかし、圧倒的に足りないのは、  
一番苦勞して、頑張り続ける「お母さん」を支える仕組み  
です。

## 今までたくさん頑張ってきたあなただから

私はもっともっと、お母さんがサポートされる仕組みを充実させるべきだと思っています。

なぜなら、そこから子どもたちの未来が続いていくと思うから。

時間通りに子育てが進まず焦ったり、学校や園から呼び出しの電話がかかってきたり、

パステルの子育ては思い通りに進まないことだらけ。



つまり、**お母さん自身も働きづらい**のです。  
それなのに、**人一倍、子育てにはお金がかかる**。

定時に会社に行けるかわからない・・・  
早退しないといけない・・・

会社に所属しながら働き続けることに  
限界を感じている方も多いと思います。

## 今までたくさん頑張ってきたあなただから

決まった時間、決まった場所に通勤して  
ルールのたくさんある、マルチタスクを求められる、

そんな環境で働くことは、  
あなたのお子さんにとっても、もしかすると過酷な職場  
環境なのかもしれません。

だからこそ、今、あなたが新しい働き方に挑戦すること  
は、

今のお子さんと、未来のお子さんの  
双方にとってかけがえのない選択なのです。

パステルの子育ては、  
お母さんの生き方をも変えてしまうほど、難しく  
大変なものだと思います。

その苦勞を、苦勞で終わらせずに、  
ご自身の経験を社会に役立てる道を模索してほしいと  
心から思っています。

「自由に生きていい」  
お子さんがあなたを選んだのは  
そんなメッセージを持っているのかも  
しれません。

私は時々、こんな風に考える時があります。

パステルの我が子が、私を選んで生まれてきたのは、

「お母さん、自由に生きていいんだよ」という  
メッセージを伝えにきたのではないかな？



我が子が、我が子じゃなかったら、  
きっと私は今でも、非常勤の公務員として  
満員電車で揺られながら、  
働き方を考える、なんてこともなく、生きていたんじゃ  
ないだろうか？と。

## 最後に

発達科学コミュニケーショントレーナーという  
お仕事は、決して楽をして稼げるお仕事ではありません。

今まで勉強したことのないような、新しい知識に  
触れる毎日になるでしょう。

学び続ける姿勢が、何よりも大切なシゴトになります。

それでも、  
我が子の未来を作りたい！  
誰よりも人生を楽しむママでいたい！  
子どもに背中を魅せる人生を生きていきたい！！

子育てに有利なライフスタイルを得ながら、  
やりがいのある仕事に挑戦したい方は、  
ぜひ、個別相談にお越しください^^

できない人はいないのです。  
大事なのは、「やる」と決めること です^^

あなたにお会いできる日を楽しみにしています！

あなたの人生を思いっきり楽しんでいい！  
オンライン個別相談会へご招待

「空気を読む」が苦手な我が子の  
将来の生きる道を作る！  
ママが自分らしくしっかき稼ぎ  
子どもに後ろ姿を魅せる！  
個別相談会



【読者特典価格】

15名限定で**無料**で受け付けます。

▼お申し込みはこちら▼

(クリックすると詳細ページが開きます)

<https://www.agentmail.jp/form/ht/17198/1/?PDF>

## 著作権について

### 法的事項：

本教材および収録されているコンテンツは、著作権、知的財産権によって保護されていることはもちろんですが、購入ダウンロードされたコンテンツは、あなたの子育てに役立てる途に限定して提供しております。

教材に含まれるコンテンツを、一部でも、書面による許可（ライセンス）なく複製、改変するなどして、またあらゆるデータ蓄積手段により複製し、オークションやインターネット上だけでなく、転売、転載、配布等、いかなる手段においても、一般に提供することを禁止します。

コンサルタント業引用、転載、教育を希望する場合に別途ライセンス契約が必要となります。

### 免責事項：

発達科学ラボの実績の事例を掲載していますが、当然ながらその結果には個人差があります。この小冊子を使った結果に責任を持つことはできません。

Copyright©2019-.Kazuko Ishizawa.

2019年8月発行 著者 石澤かずこ